

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと心からお慶び申し上げます。

皆様からのカシオグループへのご理解とご支援に、深く感謝申し上げます。

2008年度第2四半期連結累計期間（2008年4月1日～2008年9月30日）の業績および事業の現況について、皆様にご報告を申し上げます。

当該期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱に加えて、原油・素材価格の高騰から、企業収益は減少、個人消費も低迷する中、景気の先行き減速感が強まりました。また海外においても同問題による米国経済の減速、さらには欧州経済、新興諸国経済への波及により世界的な景気の不透明感、減速感が強まりました。また、エレクトロニクス業界においても、原材料価格の高止まりや景気減速による世界全体での需要低迷、さらにはグローバルでの競争激化や商品価格の下落等、当グループを取り巻く事業環境は非常に厳しさを増しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,723億円となりました。

損益については、経営目標の達成に向け、製品の高付加価値化と差別化を強力に推進・展開すると共に、資本効率の向上などの重点施策を推進し、収益体質の強化に取り組んできました。その結果、営業利益は消去又は全社考慮後の連結合計として182億円(対前年同期比32.5%増)となりました。また経常利益は176億円(対前年同期比67.5%増)、四半期純利益は97億円(対前年同期比77.5%増)となりました。

セグメント別にみますと、エレクトロニクス機器事業が携帯電話の増収に伴う増益と電波時計、電子辞書における商品力の強化による高収益体質の継続、また情報機器においても収益の改善が図られ、営業利益は211億円(対前年同期比18.7%増)となりました。

デバイスその他事業は、不採算事業整理による増益効果により、営業利益が0.7億円(対前年同期比14億円増)となりました。

カシオグループは今後も経営体質の強化を進め、企業価値の一層の向上につとめてまいります。今後ともご支援賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



取締役社長

梶尾和雄

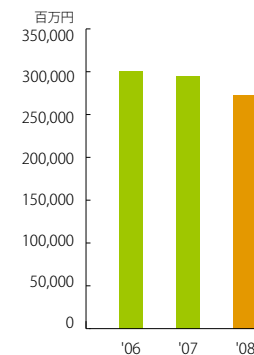
業績ハイライト（連結）

業績ハイライト（第2四半期連結累計期間）

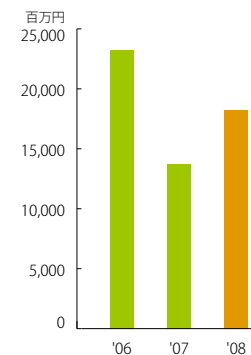
科目	2006年度	2007年度**	2008年度*
売上高(百万円)	300,574	294,277	272,398
営業利益(百万円)	23,198	13,742	18,211
経常利益(百万円)	20,315	10,545	17,665
四半期純利益(百万円)	11,978	5,476	9,722
1株当たり四半期純利益(円)	45.03	19.85	35.18

*2008年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」、「棚卸資産の評価に関する会計基準」、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」を適用しています。また「リース取引に関する会計基準」を早期適用しています。
**2007年度より有形固定資産について改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

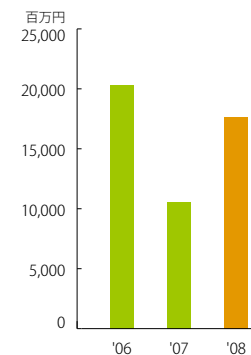
売上高



営業利益



経常利益



四半期純利益

